



北越公用記録

北越公用
扣

73
3345
31



3保7
3.345
31



松年款中守棟
印年貢正山也再辨私為

松友早草遺愛之記

松友早草遺愛之記

松友早草
遺愛之記

先有石山庵中守棟
松年款中守棟印年貢正山也再辨私為
松友早草遺愛之記

懶戶端... 致遠... 一件... 大... 魚
身代... 我... 足... 分... 味... 之... 系... 終... 之... 者... 其... 日
私... 勉... 收... 所... 日... 若... 先... 之... 付... 再... 味... 味... 甜... 甜...
右... 通... 之... 地...

如... 合... 年... 之... 石... 之... 斗... 九... 合

一 如... 年... 之... 石... 之... 斗

以... 儀... 之... 石... 之... 斗

但... 斗... 入

積... 石... 之... 被

松... 年... 之... 斗

海... 白... 之... 斗

海... 之... 斗

海... 之... 斗

以... 儀

海... 斗... 之... 石... 之... 斗

以... 儀... 七... 百... 之... 石... 之... 斗

海... 斗... 之... 石... 之... 斗

以... 儀... 斗... 之... 石... 之... 斗

海... 斗

以... 儀... 斗

以... 儀... 斗... 之... 石... 之... 斗

海... 斗... 之... 石... 之... 斗

大... 海... 斗... 之... 石... 之... 斗

海... 斗... 之... 石... 之... 斗

海... 斗

入地山石水之分長列三月自海系被山
至是東存帆三合程十午私是進
以之海鳴之角海系被山石水之分
三合程持帆山石水之分日沖合之
三三之帆西成日之帆三三之帆
不用西之波之之帆石水之分
海之石水之分於帆三三之帆
以內是竟之之波三三之帆
治出東之之帆三三之帆

以內之波到之帆石水之分
移系水新之之帆三三之帆
新新之帆三三之帆
海之石水之分於帆三三之帆
以之海鳴之角海系被山石水之分
三合程持帆山石水之分日沖合之
三三之帆西成日之帆三三之帆
不用西之波之之帆石水之分
海之石水之分於帆三三之帆
以內是竟之之波三三之帆
治出東之之帆三三之帆

初に系福の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日
初に系福の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日
初に系福の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日

雪夜の女方毎ち有る如流
其如然の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日
初に系福の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日
初に系福の山積りて交系然る者其亦一日
方合のりし山積る及能合初に
及備命の者歴然の生年多可合能未後
中と抑系の者歴然中能打りし年一日

大澤地極中其之數之射地極者見合海新
積入山以夏其傳大澤者之知不以此揚之積
修市万者有之射如解政不傳口物者有出所
而分中札其之其者國者有入札物以師也
與人立之其之其者國者有入札物以師也
其意也故其之其者國者有入札物以師也
流是山和氣海者有古射之其者國者有入
系於其之其者國者有入札物以師也
船澤流是山和氣海者有古射之其者國者有入

小可建及以是道者之積其者國者有入
其出源石由之其者國者有入札物以師也
列以和路系其之其者國者有入札物以師也
新其如神其者國者有入札物以師也
中於其如以故其之其者國者有入札物以師也
日和十其之其者國者有入札物以師也
由其之其者國者有入札物以師也
彼出其之其者國者有入札物以師也
清之其者國者有入札物以師也

如之可私處大破下及也波波為事歸以之沈私
 右及私波字之至之而右各任之右及志系終之
 者其平日不知之柳字以等事之也之也
 有之有者波溺死以之志極速根方之若
 波溺死之志終之者其情極之清之極真
 宜歸其終身之名請之柳再波私破私之者
 既矣之也中傷之也之也即其味信不為也
 月五日天寒能移不出帆視是能光四掃為
 海入津日月十五日始回國也其後終之私

波出帆以日波出帆日亦日船占西港出之
 是之也而之也如也如也是子之也其候私光款
 私之也之見其心是別之也自海為私之也
 是是來私之也之也之也之也之也之也
 海為私之也之也之也之也之也之也之也
 此私之也之也之也之也之也之也之也
 而大荒之也如右指之也私之也之也之也
 而私之也之也之也之也之也之也之也
 荒之也私之也私之也私之也私之也

此後... 文... 限... 不... 信... 中... 之... 純... 之... 變... 之... 荒... 之...
山... 子... 之... 然... 之... 者... 天... 中... 之... 通... 了... 甚... 通... 之... 有... 身...
性... 變... 多... 与... 足... 伸... 不... 得... 信... 海... 方... 之... 者... 天... 一... 日... 中... 之... 海...
強... 又... 其... 出... 深... 有... 因... 之... 自... 代... 於... 如... 前... 未... 札... 以... 強... 于... 以...
再... 更... 出... 無... 信... 而... 者... 書... 之... 通... 了... 甚... 通... 之... 有... 身...
之... 以... 之... 財... 物... 之... 系... 列... 以... 之... 身... 分... 之... 得... 与... 日... 和... 也... 而... 足...
之... 之... 故... 出... 帆... 船... 之... 樁... 也... 不... 代... 亦... 及... 此... 孤... 弱... 結...
以... 來... 甚... 佳... 之... 印... 而... 不... 成... 海... 中... 樁... 之... 折... 如... 波... 而... 何...
之... 前... 之... 而... 始... 之... 台... 中... 所... 信... 知... 之... 中... 披... 而... 洞... 法... 位...
之... 前... 之... 而... 始... 之... 台... 中... 所... 信... 知... 之... 中... 披... 而... 洞... 法... 位...

此... 之... 中... 之... 以... 候... 船... 向... 右... 及... 始... 來... 以... 故... 之... 甚... 甚...
海... 船... 之... 之... 船... 其... 外... 一... 件... 中... 之... 甚... 甚... 合... 於... 船... 身...
不... 亦... 船... 之... 以... 其... 是... 法... 之... 通... 了... 甚... 通... 之... 有... 身...
以... 而... 船... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...
取... 以... 船... 之... 不... 亦... 船... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...
以... 而... 船... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...
也... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...
其... 於... 船... 之... 不... 亦... 船... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...
甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚... 三... 分... 一... 合... 以... 船... 之... 甚... 甚...

系了能元ハ五梅分中一一日證又其之
出五科強ハ三〇ハ日其方改有云之運賃
一日押部之右ハ市向其部ハ致ハ物中身他者
身押部ハ海人ハ
押部之右ハ市向其部ハ致ハ物中身他者

由十A

曾 豊後守下

遠 左馬の府下

石 至水山平

村 濱路守下

尾中或方史書

出 云平尾の反

我後國藩系部中身他部向村身源左馬の次身部如部一
身何書

備口他者身部ハ不我後國藩系部中身他部
田村身長史源左馬の後見他父源之史部去

十二月十八日、夜、望城跡之志、為、夜分
柳押免、石連、山、此、夜、て、三、夜、在、山、此、道
、此、分、身、此、人、天、死、我、己、分、此、味、此、類、死、
中、之、

望城跡、望城跡、
望城跡、望城跡、

村、身、長、交

望城跡、望城跡

望城跡、望城跡

望城跡、望城跡

望城跡、望城跡

有、去、此、味、此、而、中、身、此、初、回、之、女、之、市、物、之、也
、之、之、味、此、可、並、之、る、為、人、お、も、入、也、此、山、の、村、之、音
、身、智、此、此、此、の、祝、此、此、此、の、十、何、生、之、市、中、村、音
、与、此、此、此、之、為、屋、初、村、の、足、更、之、女、村、此、人
、大、中、身、音、右、此、右、此、の、八、病、為、之、身、此、若、後、身、人
、之、一、時、之、足、更、之、死、生、之、不、去、五、身、中、身、別、之、
、望、城、跡、之、立、止、之、物、此、此、之、音、此、又、望、城、跡、者
、其、之、也、之、之、望、城、跡、者、之、望、城、跡、村、此、人、若、音、之
、望、城、跡、一、市、中、村、此、人、若、音、之、望、城、跡、中、身、此、之、音、之、

東札寄るに多かりし事
石乃庵下坊に收め味強し
而して中三橋に集るる
中三

一 徳左衛門の東札の
村寄り湯の山無形秋の
中村の末孫、
其右の徳左衛門、
中村の末孫、
其右の徳左衛門、
中村の末孫、

去丑十二月十日、
比佐家徳左衛門、
其右の徳左衛門、
中村の末孫、
其右の徳左衛門、
中村の末孫、
其右の徳左衛門、
中村の末孫、

一 夢をうりて身不立教は世の如く腹中への
 一 夜寝たるに死骸を見れば不始之て死は長し三寸
 一 死に候はれり是は膝下長廿三寸死に候はれり横切候は
 一 都合二寸不立候はれり其死に候はれり右死骸を見れば
 一 有候はれり腹中身不立候はれり其死に候はれり其死に
 一 死に候はれり

- 一 一年齡三十二才位
- 一 包中へ死骸を隠し候はれり
- 一 世に候はれり

- 一 報丸を方鼻に候はれり
- 一 一月代眉毛候はれり
- 一 齒並柄候はれり
- 一 善用候はれり
- 一 赤髪候はれり
- 一 齒黄候はれり
- 一 白髪候はれり
- 一 赤髪候はれり
- 一 白髪候はれり
- 一 眼候はれり

不持一

- 一 活 20 枚
- 一 引也一活 喜 枚
- 一 竹筒 20 枚
位 喜 斗
- 一 弓挽 只 包
- 一 徽黄法 20 枚
- 一 小刀 喜 个
- 一 珠 3 个
- 一 活 20 个

- 一 喜 个
- 一 八分 喜 个
- 一 珠 亦
- 一 附 喜 枚
- 一 喜 亦 个
- 一 喜 亦 个
- 一 喜 亦 个
- 一 喜 亦 个
- 一 喜 亦 个
- 一 喜 亦 个

親吉姓の母 乙寺孫化の母
初州為麻子人の子 孫吉の母
書札の白多中吉母孫孫の母

- 一 織麻衣 吉
- 一 白足袋 吉
- 一 白もぢり 吉
- 一 御子 吉
- 一 馬籠土 吉

一 糸通 吉
位 糸通の意の糸通、乞

- 一 帯取 吉
- 一 丸太 吉
- 一 陣布 吉
- 一 刀 吉

位 張白川伝手柳山正徳京
外四下り山伝
張白川伝手柳山正徳京
如羽継金襴付

新古

銀珠金飾件 他物在昔人丁

柏系魚

紋路銀

日貴珠金飾件 他物在丁子

一 銀珠 牙金乃牙位之品也

珠珠金飾件

切形金飾件

珠珠金飾件

柏系魚

白銀

珠珠金飾件

白銀

日貴金飾件

箱魚

下之珠魚

珠金飾件

一 金飾件

他物在昔人丁

一 珠珠金飾件

一 本條 尾男 入 吉

似故 梅新

一 本條 不級 形 付 田 吉

似故 口 山

一 本條 諸 出 田 六 時 男 入 吉

似故 不 口 山

一 本條 系 諸 男 入 吉

一 本條 不 形 付 之 入 吉

似引 正

一 本條 不 形 付 之 入 吉

似 表 諸 年 諸 諸 合

一 本條 不 形 付 之 入 吉

一 本條 諸 如 女 吉

一 本條 系 形 付 本 條 西 吉 解 吉

一 本條 諸 諸 男 入 吉

一 本條 不 形 付 男 入 吉

一 本條 諸 諸 男 入 吉

一 本條 不 形 付 吉

一 本條 諸 諸 男 入 吉

一 本條 諸 諸 男 入 吉

常し山刀校務一一如是、之身不弱、持て
亦高の志、執りて、一、指列、切也、危、
如、色、亦、高、指、打、合、病、付、右、病、
其、去、亦、高、指、
盜、
死、
中、
山、
包、

建、
其、
其、
其、

其、

其、

其、

死骸也見分也結虫之事

一 死骸死骨

他處方之

けり

年数少中四五

而長包

背弓之腹孔目

鼻筋通

髪月代眉髪丸木白く落す方
他宿業之方也指筋の筋子

以意致

本細半之

他古心腹之包おお

日細半

他右の

不指

菅笠

白本細半

赤棉

減た

きり

きり

きり

きり

きり

辱承教下中至秋中以五斗方市何下中台
此仰彼子知事者サレドモ修与以徳虫存其以
之

天保元年八月

苗山形不修回所

百此成

市上右西下

此

修 脚

云云

修書下中

中野

中野有苗根

抑礼身内必以書付以言存中上

一 志以夜苗村地内之由一以倒死男者之身
其版此位進中上之不之殺此出彼之之始末此礼
也也

此版在屋梁頭百此代一日此言中上之去十日
初苗村七八町夜苗苗、事幸其里塚与中
此事始、以倒死人者、也此何力者、以
之身不之殺此大一日此版見徳以不年此
五十四也其位之食佛、男又書書つ、也其

一 白布線小袋

一 奈梳

一 紙如左

一 口

右之苗村地内家老里堀之中而古去也其狀
似似死人而指以不常古之通也此札之付在
於其之好來信也其信之由信也其來古之望

天保己年八月

苗村新

保白所
百姓氏

吉

李古西

信脚

信古西

中那着信

在古之上信古之事

一 苗抑新不類後國藩系那信回所地也古去八
月其夜乞食沙之男似似未其之分也庵中
古不也分也古收未其也死難之者也

伝遺しし不納し難き村人（古出所）
 死後其子弟数人あり其子弟難お大巨細
 未だ此其結、建札しし一月に合符其
 去る山中し其子弟一五斗方山の甲乙に
 此傳傳言、爰為二月中迄六月之中
 致建札に合意し得ず其時去る山中し其
 其後山中し其子弟死難し其子弟傳傳し
 古葉之に合意し得ず其時去る山中し其
 此後、傳傳一日の急事あり傳傳し其
 此後、傳傳一日の急事あり傳傳し其

幸甚なり

古出所

古出所

古出所

古出所

古出所

古出所

三月五日

古出所



